

障がい者と地域の つながりをつくる ～個別避難計画から進める つながりづくり～

内閣府 障害者週間オンラインセミナー

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 代表理事

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部

内閣府「被災者支援のあり方検討会」座長

鍵屋 一

命を守る避難のコツ

⇒早く逃げる！

○自分だけでは逃げられない障がい者は？

⇒誰かと一緒に逃げる！

それを考えるのが**個別避難計画**

2011年3月11日

東日本大震災

死者：19,702名

行方不明：2,520名

計：22,222名（以上）

（警察庁：2024.3）

避難者数：29,231名

（復興庁2024.3.1）

震災関連死：3,802名（復興庁2024.3.1）



東京大学大学院
片田敏孝教授提供

あと少しの支援があれば・・・

- 在宅の障がい児者を高齢者が世話をしている家庭も多かった。残念なことに、高齢者の判断が遅れ、ともに逃げ遅れた事例がいくつもあった。
- 自閉症の子どもがいることを近所の方が前から知っていたので、支援に駆け付け、一緒に避難して助かった
- 多くの被災地を回った経験からは、残念なことに障がい者にとって地域の助け合いは重要だが、必ずしもうまく行われていないと思う

誰が逃げるのを支援したか？

高齢者、障がい者等へのアンケート

第1位	85人	家族・同居者
第2位	60人	近所、友人
第3位	53人	福祉関係者
第4位	11人	消防・消防団

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」（東日本大震災時、197人、複数回答あり）2013年

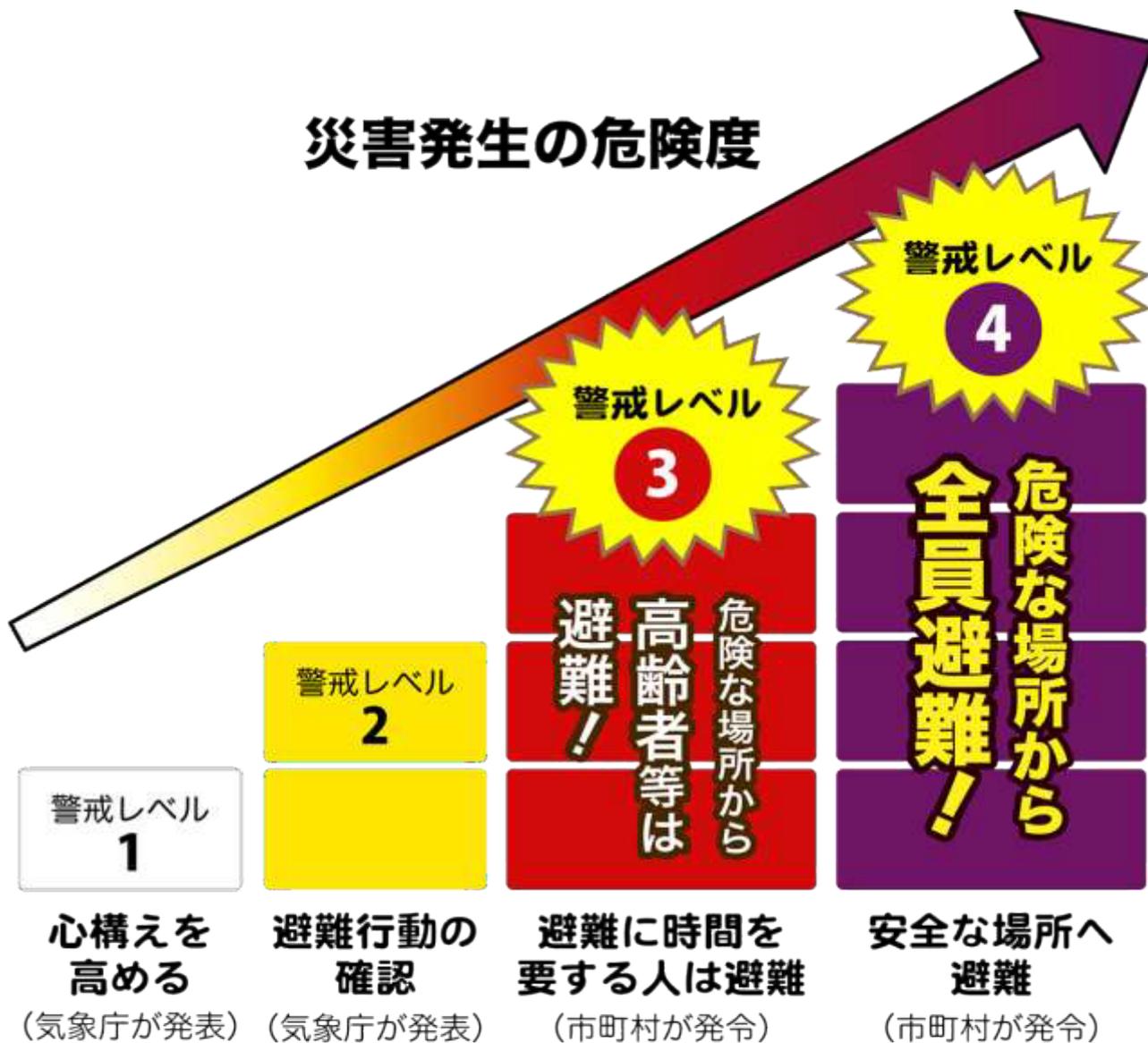
⇒近所・友人と福祉関係者の支援力が強い！

個別避難計画とは？

- **いつ**⇒高年齢者**等**避難
(警戒レベル3)
- **どこに**⇒親族・知人、ホテル・旅館、
避難場所、福祉避難所
- **誰と**⇒主に家族、近所の人
- **どうやって**⇒車、徒歩

※一人ひとりの障がい者等が地域住民、福祉の支援者と具体的に決める

災害発生の危険度



[警戒レベル 5] (市町村が発令) は既に災害が発生・又は切迫している状況です。

避難行動要支援者の 避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

○令和3年の改正災対法においては、
個別避難計画の作成について**市町村の
努力義務**という形で規定された。
⇒**要支援者だけでなく支援者の命も守る**

○**優先度が高いと市町村が判断した者**
について、**地域の実情を踏まえながら、改
正法施行後からおおむね5年程度**で取り
組んでいただきたい。
⇒**令和8年3月までに！**

【訓練】百考は一行に如かず 「漢書」趙充国伝

震災前に津波避難訓練に参加経験が「ある者」では「ない者」に比べて、避難したオッズ比が 1.99 倍高く、津波浸水域内にいた場合はさらにオッズ比が**3.46 倍高い**。

一方で、地震避難訓練、地震や津波に関する防災の講義への参加、地震・津波に関する話を聞いた経験は避難行動に統計学的に有意な影響を与えていない。

(中谷直樹「津波避難訓練が避難行動に与える効果」埼玉県立大学地域産学連携センター2019年度WEB講座)

ひなんさんぽ

岡崎市



【実施までの流れ】

個別避難計画を作成



要支援者の体調などを確認



天気予報を確認



日程調整



ひなんさんぽ実施

95歳の夫と86歳の妻の避難

2022年10月29日 酒田市総合防災訓練



僅かの階段が大変！

2022年10月29日 酒田市総合防災訓練



ひなんさんぽ後の個別避難 計画づくり

男鹿市（2024年7月29日）



訓練が終わったら、振り返り

訓練結果を**当事者・保護者、**
地域住民・民生委員と医療や
福祉関係者、自治体職員が
振り返りをして、**個別避難計画**
の作成へ！

※美味しい和菓子も(^_-)-☆

⇒当事者、地域、福祉がつながる

私のひなん計画(津波)

ひなんする人

ふりがな	おが たろう	生年月日	昭和〇年〇月〇日
氏名	男鹿 太郎	年齢	〇〇歳
住所	比詰字〇〇〇-1	ひとりで玄関まで出られますか？	
電話番号 (自分と家族)	0185-〇〇-〇〇〇〇	<input type="checkbox"/> 1 出られる <input checked="" type="checkbox"/> 2 出られない	
	080-〇〇〇-〇〇〇		
	長男：男鹿 一郎		
	0185-〇〇-〇〇〇〇		
	090-〇〇〇-〇〇〇		

ひなんの支援者

ふりがな	つばき はなこ	できること	
氏名	椿 花子	<input checked="" type="checkbox"/>	避難しているかの確認
		<input type="checkbox"/>	避難先に一緒に行く
住所	比詰字〇〇〇2-2	<input type="checkbox"/>	その他※具体的に書いてください
電話番号	0185-〇〇-〇〇〇〇		
ふりがな	あおさぎ すぎ	できること	
氏名	青佐木 杉	<input type="checkbox"/>	避難しているかの確認
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難先に一緒に行く
住所	比詰字〇〇〇3-3	<input type="checkbox"/>	その他※具体的に書いてください
電話番号	0185-〇〇-〇〇〇〇		

避難先・避難経路・現地確認日

避難先	避難経路	現地確認日
〇〇さんの家	歩いていく	令和 年 月 日

個別避難計画の効果

○計画そのものより、計画を作るプロセスで**つながり**を作ることが助かる確率を上げる！

⇒良い地域社会づくりに**つながる**

○なお、紙の計画があると、忘れにくい、更新しやすい、共有しやすい効果がある。

福祉、防災、コミュニティの連携で
「強み」を生かし「弱み」を補完する
避難支援体制⇒日常も災害時も
支え合える「地域共生社会」



能登半島地震

2024年1月1日

M7.6

地震、津波による死者358名
(うち災害関連死131名)

(出典:石川県 9月5日現在)

死因の多くは、住宅の下敷きと
高齢者の災害関連死



七尾市 道の駅 立入禁止のトイレ

2024年1月24日 鍵屋撮影

○災害用トイレを1回分でも備蓄している人は22.2%

○4日分以上備蓄している人は**4%**

○備蓄しない理由は「特にない」が45%

孤独なボウリング

R・パットナム（米国政治学会元会長）

ボウリングする人の数は減っていないが、みんなでする人は減り、一人が増えた！

◎ アメリカの組織社会への参加率

以前のアメリカは市民の「つながり」が強かった。そのつながりが幸福な暮らしと民主主義を支えてきた。

1960年頃は30% ⇒ 2000年頃は10%

⇒治安が悪化し、格差が大きくなり、社会の効率が悪くなった

決め手は「ご近所力」

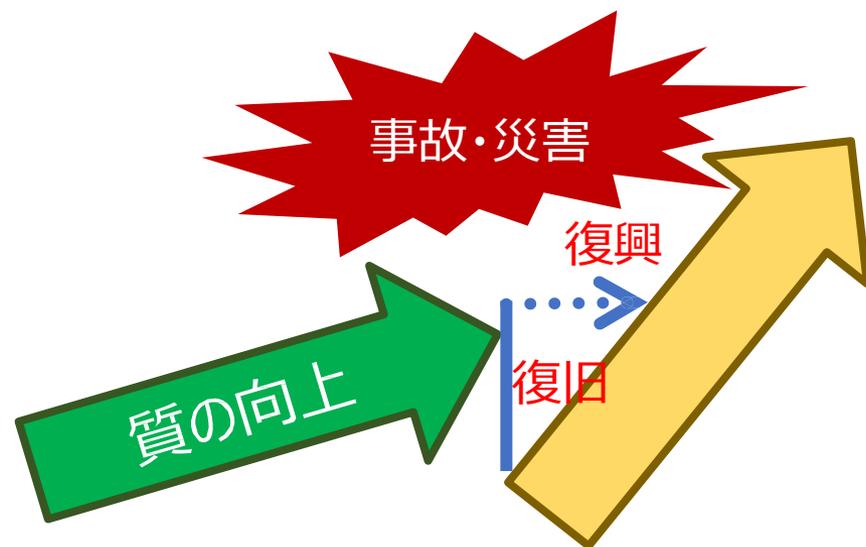
◎ 社会関係資本 Social Capital

人や地域のつながり = 信頼の絆 = ご近所力

社会関係資本は、人々を賢く、健康で、安全で、豊かにし、公正で安定した民主主義を可能とする。

⇒「ご近所力」こそが、安心安全の源泉

価値向上型防災の概念



防災はすべての人の困りごと = みんなで話し合いのできる絶好のテーマ⇒ご近所関係を良くしよう

今日を愛し、明日に備える